

下関市入札監視委員会規則第5条第5項により、以下のとおり公表します。

下関市入札監視委員会（第11回）審議概要

開催日時	平成24年11月20日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館2階 第4会議室		
委員	中谷正行（弁護士） 岡孝（高等学校教諭） 藤本博美（ファイナンシャルプランナー）		
審議対象期間	平成24年7月1日 ～ 平成24年9月30日		
審議対象総件数	178件	(抽出工事名称)	
抽出案件	条件付一般競争入札	106件	市民サービスセンター（仮称）建築主体工事
	指名競争入札	65件	一般県道豊浦久野線交通安全（総合交付金）工事に伴う移設工事
	随意契約	7件	平成24年度 彦島本村町36号線道路維持修繕工事
指名停止等の運用状況	なし		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
市民サービスセンター（仮称）建築主体工事	
<ul style="list-style-type: none"> 工事の規模からすると、入札参加者が5組というのは少ない気がするのだが、予想はどうだったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 発注前に実績等わかる範囲で想定したところ、J Vの組み合わせは最大で7組であろうと考えていた。過去3者J Vで組んだ工事においても、想定では5組以上は確保するという形でやっている。過去の工事と比較しても競争性は確保されていたと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスセンターについては、建築主体工事以外に電気設備、機械設備の工事があるが、3つの工事に分けた理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模の工事なら、大手ゼネコンが一括ですということもあるが、下関市は平成22年度から地元企業優先発注の実施方針のもとに、公共工事に限らず物品購入、業務委託等も地元企業でできるものは地元企業へ発注することに取り組んでいる。その実施方針の中に、分離・分割発注することにより、地元企業へ発注できるものは分離・分割し、地元の企業へ発注するという方針がある。今回の市民サービスセンターについても、分離・分割発注を行うことにより、地元企業へ優先発注できるためである。

一般県道豊浦久野線交通安全（総合交付金）工事に伴う移設工事

<ul style="list-style-type: none">• 一般競争入札に付すことが不利であると認められるときというのはどういうことか。	<ul style="list-style-type: none">• 地方公共団体の契約は原則一般競争入札だが、条件に該当するものは指名競争入札にできるとしている。条件の1号が一般競争入札に適しないもの、第2号が競争に加わるべき者の数が少数であるとき、第3号が不利と認められるときだが、下関市条件付き一般競争入札実施要領において、一般競争入札に付する建設工事等は設計金額が500万円以上としており、500万円未満の契約では、色々な事務経費等を見たときに一般競争入札にすると不利だという判断をしている。
<ul style="list-style-type: none">• 「一般競争入札に付すことが不利である」というのは、いくらでも該当させられそうだが。	<ul style="list-style-type: none">• 考え方によっては確かにそうだが、しかし、そこに合理性がないといけない。市長の裁量権の範囲内になるが、合理性がないと争うことにもなる。
<ul style="list-style-type: none">• 指名する際に考慮したという、指名回数や受注状況というのは、どういうことを考慮したのか。	<ul style="list-style-type: none">• 24年度において、今回の案件までの間の指名件数や落札状況、落札件数というものを考慮して、なるべく指名が偏らないようにするということからデータをとって指名するようにしている。

平成24年度 彦島本村町36号線道路維持修繕工事

- 契約業者はいつから保守点検を行っているのか。

- 平成18年度から行っている。それ以前は別の業者が行っていたが、平成18年度にメンテナンス関係から撤退するというところで、その中にいた職員を契約業者が継続雇用するという形でノウハウが受け継がれ、その流れで契約業者が行っている。

- 工期が6ヶ月とあるが、これくらいかかるものなのか。

- バルブコントロールである休止装置の製作が特注のようなものであるため、まず製作期間を設けている。また、水門橋に設置するには船の運航と道路の通行を一旦止めないといけないため、漁港など関係機関との調整期間もとっている。